チケット販売・申込受付

一般講座·夜楽

参加費【オープニングシンポジウム·一般講座】800円 【夜楽】4,500円~7,700円

11月15日(土)10:00より、市原市市民会館(市原市惣社1-1-1)の

窓口・電話・ウェブサイトにて発売。チケットセンター: 0570-043-043

- ※市原市市民会館の窓口での販売時間は、9:00~17:00です(休館日:第1・3火曜日、12月29日~1月3日)。
- ※ご購入は、お一人1講座に付き4枚までとなります。
- ※購入後のチケットの払い戻しはいたしません。
- ※インターネットで予約した後、セブン-イレブンでの支払い・発券または二次元バーコードでの発券を選択する場合、 チケット代金の他にシステム利用料と発券手数料がかかりますのでご注意ください。



市民会館

ハローワーク・子ども向け特別講座・若者向け特別講座

参加費 無料

市ウェブサイトの申込フォームから申し込む。申込期間:11月15日(土)~12月22日(月) 定員数を上回る応募があった場合は、抽選により決定します。

当選落選に関わらず、Eメールにて12月26日(金)までにお知らせいたします。

- ※電話、Eメールによるお申込み、講座の申込状況の問い合わせはお受けできません。
- ※ご入力いただく個人情報は「エンジン03in市原」の運営のみに使用いたします。
- ※ 当落に関する市からのメール (enjin01@city.ichihara.lg.jp) を受信できるように 設定してください。
- ※本人確認のため、当日、受付にて学生証等の提示を求める場合があります。









【託児のご案内】 オープニングシンポジウム・一般講座の時間帯に託児を行います。

対象 1歳~小学3年生 定員 先着10人 申込方法 市ウェブサイト(右の二次元バーコード)の申し込みフォームから申し込む。









※昨年度開催したエンジン 02 in 市原の様子



エンジン01文化戦略会議とは

エンジン01(ゼロワン)文化戦略会議は、文化、芸術、スポーツから経済など、各分野の第一線で活躍 する表現者・思考者たちが日本文化のさらなる深まりと広がりを目的に参集したボランティア集団です。 エンジン(ENJIN)は、Encourage Japan Intelligent Networkの略です。発足時からのメンバー であった故眞木準氏の命名です。新時代の文化形成の「エンジン」となり異分野の才能が「円陣」を 組むことを呼びかけることも意味しています。

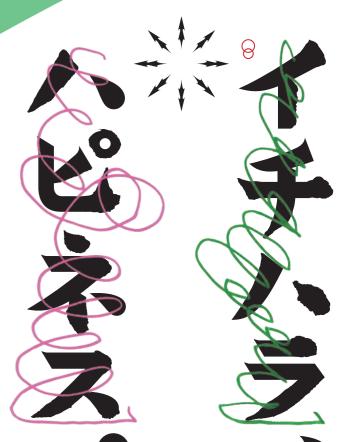
01(ゼロワン)は、当会が発足した2001年に一から出発するという新心の想いと、デジタル時代の選択 肢としてのシンボルマークです。全体として、「一から再構築する文化のエンジン」という意味になります。 和名の「文化戦略会議」は元代表である樋口廣太郎氏の命名です。

公式ウェブページ









2026年

【開会式・オープニング・シンポジウム】 市原市市民会館 小ホール 【夜楽】市原市内飲食店

【一般講座】市原市市民会館小ホール、大会議室 【ハローワーク】 市原市市民会館大ホール、会議室3 【子ども向け特別講座】国分寺公民館 工作室

【若者向け特別講座】ウエルシアコミュニケーションセンターいちはら 多目的室

主催:市原市、市原市教育委員会、(公財)市原市文化振興財団

協力:エンジン01文化戦略会議 協賛:市原商工会議所

フリルヤフテクノス株式合社株式会社上野工業所、

株式会社オリジナルメーカー









日程・プログラム ※は地元ゲスト講師 (ゲスト講師とは、エンジン01文化戦略会議の会員以外の講師です)

1月31日⊕

開会式・オープニングコンサート・オープニングシンポジウム

時間		テーマ・講師	会場	参加料	定員
15:30~1	7:15	ミニコンサート 熊本マリ 芸術とつくるまちのかたち〜里山からハピネスが生まれる〜 勝間和代、相川七瀬、熊本マリ、小出譲治*、前田礼*	市民会館	800円	450人

夜楽

時間	会場	講師	参加料	定員
	シーサイドレストラン サントリーニ ※ノンアルコール店舗 市原市五井南海岸 1-12 オリジナルメーカー海釣り公園館内3F	小佐野彈、勝間和代	4,500円	25人
	トラットリア イ・ルミナーレ 市原市北国分寺台 1-8-1ドミール陽水1F	山田美保子、和田秀樹	7,500円	30人
18:30~20:30	Bakery & Cafe Restaurantハートの木 市原市北国分寺台2-12-1	熊本マリ、南美希子	6,500円	24人
	肉とワイン HUNGRY 市原市五井5505	辰巳琢郎、前田礼	7,700円	20人
	食い処バー 遊酒 市原市五井中央東1-8-4	茂木健一郎、和田裕美	7,300円	20人

講師およびプログラムは令和7年11月1日時点の予定であり、今後変更となる場合があります。最新情報は、市原市ウェブサイトをご覧ください。

講師紹介 五十音順 ※は地元ゲスト講師

相川七瀬

小橋健司※

代の土器と埴輪を研究。

市原市埋蔵文化財調査センター 学芸員

1995年に『夢見る少女じゃいられない』でデビューし、現在までのCD売り上 げトータル枚数は1200万枚を超えている。2024年に国学院大学神道文化 学部を卒業し、現在は同大学大学院に進学、民俗学を専攻している。2025 年11月8日にデビュー30周年を迎え、アニバーサルイヤーとしてアルバムのリ リースやライブなど精力的に活動している。



小佐野彈

1983年世田谷区生まれ。台湾・台北市在住。 慶應義塾大学大学院経済学 研究科博士課程単位取得退学。慶應義塾中等部在学中の1997年に作歌を はじめる。大学院在学中、台湾にて起業。日本茶カフェチェーンを世界各国で 展開。著作に小説『車軸』(集英社文庫)、小説『ビギナーズ家族』(小学館) な ど。2017年、「無垢な日本で」で第60回短歌研究新人賞受賞。2018年、歌 集『メタリック』(短歌研究社)で第63回現代歌人協会賞受賞。



熊本マリ

ピアニスト/大阪芸術大学大学院教授

東京生まれ。10歳で家族と共にスペインへ渡る。スペイン王立マドリード音 楽院、ジュリアード音楽院、英国王立音楽院にて研鑚を積む。CDはキングレ コード、コロムビアからリリース。チェコ・フィルハーモニー管弦楽団やベネズ エラ交響楽団と共演するなど、その活躍は国内にとどまらない。演奏活動の傍 ら、TV・ラジオへの出演、執筆活動など多才な活躍で幅広い層のファンを獲 得している。08年、大阪芸術大学(演奏学科)教授に就任。

松山知子*

糸かけ作家/糸かけ工房ルピナス代表

場者と共同制作した糸かけがモノレール千葉駅に展示中。



海保大塚古墳(姉崎古墳群)発掘調査のほか、稲荷台1号墳(国分寺台地区) の整理作業などを担当。市原歴史博物館の常設展示作成(弥生・古墳時代)

1975年兵庫県生まれ。奈良大学文化財学科卒。日本考古学協会員。平成9

年から市学芸員として勤務する。専門は日本考古学で、弥生時代から古墳時

前田礼※

市原湖畔美術館館長代理

茂木健一郎

作が世界58カ国、32の言語で翻訳出版。

1962年横浜生まれ。東京大学大学院総合文化研究科博士課程在学中から「ア パルトヘイトノン否!国際美術展」事務局で活動。アートフロントギャラ リー勤務。「ファーレ立川」「大地の芸術祭-越後妻有アートトリエンナーレ」 「ヨーロッパ・アジア・パシフィック建築の新潮流」「菜の花里美発見展ーアー トユニバーシアード」「いちはらアート×ミックス」等の企画・コーディネー トに関わる。著書に『ヒルサイドテラス物語―朝倉家と代官山のまちづくり』。

1962年東京生まれ。ソニーコンピュータサイエンス研究所上席研究員。東京

大学大学院特任教授。屋久島おおぞら高校校長。東京大学大学院理学系研

究科物理学専攻課程修了、理学博士。理化学研究所、ケンブリッジ大学を経

て現職。脳活動からの意識の起源の究明に取り組む。05年 「脳と仮想」で第

4回小林秀雄賞受賞。近著に『クオリアと人工意識』。IKIGAIに関する英語著



山田美保子

放送作家/コラムニスト

『踊る!さんま御殿!!』などを担当する放送作家。『女性セブン』『サンデー毎 日』『デイリースポーツ』『日経 MJ』『婦人公論.jp』『NEWS ポストセブン』 他、 連載多数。『サンデージャポン』『ドデスカ!+(プラス)』『1周回って知らない 話』のコメンテーター、CM コンテスト審査員、マーケティング・アドバイザーな ども務めている。

板に釘を打ち、糸をかけて作るアート「糸かけ」に魅了され、制作に勤しむ傍

ら、糸かけの楽しさを共有したいとの思いでワークショップを行う。内田未来

楽校、旧内田小学校、上総牛久駅0番線にて糸かけアート展「糸から生まれ

るモノガタリ」主催。市原市美術展覧会 美術会賞(第60回)、優秀賞(第61

回)、千葉県美術展覧会 入選(第73、74回)。第4回チバマチテラスにて来



2月1日日

一般講座

時間	テーマ・講師	参加料	会場	定員
1時限	国産最古!? いちはらの至宝「王賜銘鉄剣」の謎に迫る 茂木健一郎、熊本マリ、小橋健司※、辰巳琢郎	800円	市民会館 小ホール	300人
11:00~12:15	"稼ぐ力"を育てる 〜好きなことで生きるためのマネー戦略〜 三浦瑠麗、勝間和代、山田美保子、和田秀樹、和田裕美	800円	市民会館 大会議室	60人
2時限	今こそ「平成」を語ろう ※講座終了後、閉会式を開催します。 山田美保子、勝間和代、小佐野彈、小出譲治**、茂木健一郎	800円	市民会館 小ホール	300人
14:00~15:15	食と農から考える地域の幸福戦略 南美希子、辰巳琢郎、星野真人*、和田秀樹、和田裕美	800円	市民会館 大会議室	60人

ハローワーク 対象 中学生・高校生

時間	テーマ	講師	参加料	会場	定員
1時限 11:00~12:00	短歌を詠む	小佐野彈、南美希子	無料	市民会館 会議室3	30人
2時限 14:00~15:00	ピアニスト	熊本マリ	無料	市民会館 大ホール	親子10組

子ども向け特別講座 対象 小学生とその保護者

時間	テーマ	講師	参加料	会場	定員
11:00~12:30	親子でチャレンジ糸かけアート	松山知子**	無料	国分寺公民館	15組30人

若者向け特別講座 対象 中学生~大学生

時間	テーマ	講師	参加料	会場	定員
14:00~16:00	フェイクニュースをつくってみよう! ~だまされないための知識とスキル~	三浦瑠麗	無料	ウエルコミ	30人

勝間和代

1968年東京生まれ。経済評論家。早稲田大学ファイナンスMBA、慶応大学 商学部卒業。当時最年少の19歳で会計士補の資格を取得、大学在学中から 監査法人に勤務。アーサー・アンダーセン、マッキンゼー、JPモルガンを経て 独立。現在、株式会社監査と分析の取締役。著作多数、著作累計発行部数は 500万部を超える。



小出譲治※

1960年8月生まれ。昭和58年、家業のコイデ陸運㈱に入社し、平成7年に同 社代表取締役に就任、東京湾岸交通株式会社を設立。その後、市原ベイタク シー(株)を設立し、トラック、バス、タクシーの3つの運送業の経営者として手腕 を発揮する。平成15年、市原市議会議員に当選。3期12年にわたり市議会議 員を務め、平成27年、市原市長に就任。「対話と連携」を市政運営の柱とし、 現在3期目を務めている。



辰巳琢郎

俳優/「日本のワインを愛する会」会長

大阪教育大学附属高等学校天王寺校舎在学中に芝居を始める。京都大学文 学部在学中は『劇団そとばこまち』を主宰し関西一の人気劇団に。1984年、 卒業と同時にNHKの朝ドラ『ロマンス』にて全国区デビュー。以来、知性・ 品格・遊び心の三拍子揃った俳優として幅広く活躍。著書に「日本ワイン礼 讃』『やっぱり食いしん坊な歳時記』他。近畿大学客員教授。囲碁大使。



星野真人※

星野農園代表

1976年市原市生まれ。市内高校卒業後東京の工業大学に進学し、いすゞ自動 車でサラリーマン生活を送る。その後、趣味のバイクを仕事に独立。横浜で2 年修行し、牛久で2005年から2017年までバイクリサイクル業を営む。2016年 頃から中年の危機にはまり、自分探しをする中、加茂地区の農業の高齢化、後 継者不在の課題を見つける。自らが飛び込み活性化できればと、2018年から 農業に従事、現在8年目



三浦瑠麗

国際政治学者/株式会社山猫総合研究所代表

1980年10月神奈川県茅ケ崎市生まれ。東京大学大学院法学政治学研究 科総合法政専攻博士課程修了、博士(法学)。東京大学政策ビジョン研究セ ンター講師を経て、19年より(株)山猫総合研究所代表。主要業績に、『シビリ アンの戦争』(岩波書店、12年)、『21世紀の戦争と平和』(新潮社、19年)があ る。専門は、戦争と平和に関する国際政治理論。フジサンケイグループ正論 新風賞(17年)など受賞多数。



南美希子

エッセイスト・アナウンサー

東京生まれ。元祖女子アナ。「OH!エルクラブ」「EXテレビ」などの司会や JJ 「お嫁に行くまでの女磨き」 VERY 「40歳からの子育て」 の連載で熱烈な 支持を集める。近年ではフジテレビ「バイキングMORE」コメンテーター、 ニッポン放送「エンターテイメントネクスト」のパーソナリティを務めた。近著 に『老けない人ほどよく喋る』。抗加齢医学会からアンチエイジングアンバサ ダーを任命されアンチエイジング関係のイベントやシンポジウムに多く出演。



和田裕美

作家·株式会社HIROWA代表取締役

陽転思考、ファンづくりセールスなどビジネス書を中心に小説、絵本も手がけ る著書数70冊以上、累計250万部の作家。外資系企業にて「ファンづくりセー ルス」という独自のスタイルを確立。世界142か国中第2位の営業経験をもと に個人や1300社以上の企業様にて講演や研修などを実施。絵本「ぼくはちい さくてしろい] は2018年から小1の道徳の教科書に掲載中。小説 「タカラモ ノ」を2023年に初舞台化し24年東京・大阪で再演、26年4月再々演決定。



和田秀樹

医師·日本映画監督協会理事

1960年大阪市生まれ。東京大学医学部卒。東京大学医学部付属病院精神 神経科助手、アメリカ、カール・メニンガー精神医学校国際フェローを経て、 立命館大学生命科学部特任教授。07年映画初監督作品「受験のシンデレ ラ』でモナコ国際映画祭最優秀作品賞受賞。著書『80歳の壁』『70歳が老化 の分かれ道』『医学部の大罪』『自分が高齢になるということ』『感情的になら ない本』など多数。翻訳書『トラウマの精神分析』など。

